

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	南部地域療育センターそよ風		
○保護者評価実施期間	2026年 11月 5日		～ 2025年 11月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57名(55家族)	(回答者数) 33名 (60%)
○従業者評価実施期間	2026年 12月 15日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題を捉え、特性に応じた専門性のある支援を提供及び支援計画作成に繋げる	・子どものことを多職種で捉えあい、それぞれの専門性を生かし支援を深めている。プログラムを実施し、振り返り次の方向を一緒に考えあえる関係性が積み重ねられてきている。・子どもを捉えるツールの利用も進んでいる	・多職種で子どもを捉え実践したことを、保護者のヘフィードバック方法を検討する・支援計画の作成に繋げるため、アセスメント力を高めていく。
2	親子で経験を広げる取り組みやプログラムの実施をしている	・法人内のバザーや夏まつりを通し、親子や家族で参加した経験する機会を設けている。・4通園行事として法人内の児童発達センターに通う親子が楽しめる文化行事を通し、本物に触れる、交通機関を利用する、子育て仲間とのふれあいの機会に繋げる	・親子や家族で経験したことで、家族でも出かけてみようと思えることや場が増えることことで、こんな経験もしてみたいと広がるような支援を考える。・年齢によって経験できるもの、楽しめるものを広げていく
3	非常時等の対応や発生に備え、定期的に見直しや実施をしている	・事故対応等は報告検討を職員間で共有、必要に応じマニュアルを見直し、事故防止に繋げている。	・保護者の引き渡し訓練の取り組み方を見直し実施する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもや保護者からの相談や申し入れについて	・保護者から相談があった時にできるだけ迅速な対応を心掛けているが、十分に答えきれていないところがあった。この職員に相談したい、伝えたいなど、情報共有の難しさも感じている。	・保護者の悩みや不安、困りごとを丁寧に捉え、対応できるような研修等の実施も進めます。・職員間で情報の共有や対応について、分担するなど個々の役割も整理しつつ、集団で対応できる方法を検討していきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園や地域の方との交流	・園庭や砂場での交流など、法人内の保育園日々の生活の中でもあるが、交流することの目的や内容を子どもたちから考えて取り組まないと…思いから進まない現状もある。	・交流の計画が必要なだけでなく、日々の中で、互いの様子を五感で感じられる環境が整っていることも大事な交流となっていることを職員間でも話題にしていく。そのことを通じ、保護者とも互いの様子を見聞きし感じてもらえる機会にします。
3	子どもにわかりやすく、清潔で心地よく過ごせる環境や活動に合わせた空間の工夫	・おもちゃの破損状況、消毒の方法や回数について丁寧にできていないことがある。・バス車庫からの出入り口にマットは敷いてあるが、子どもと大人で対応の違いに保護者も含め矛盾を感じている	・水曜日及びクラス会議の時におもちゃの点検を実施し、破損や電池切れ、紛失などのチェックをしています。・バス車庫出入り口のマットを2週ごとに交換します。